



毎度お世話になっております。株式会社シロクマです。大規模なエルニーニョ現象のため、この冬は6年ぶりの暖冬になりそうという気象庁の予想が発表されました。季節商材などの消費動向に響くことは心配されますが、正直なところ、体調管理がしやすく、省エネにつながる暖冬はありがたい気もします。皆様、どうぞ健康に留意して、よいお年をお迎えください。

## 今月のホット情報

# シート貼りで均一な仕上がりに BR-950L LVSブラケットベース

手すりを取り付ける時に活用度の高いブラケットベース。通常、ブラケットはしっかりした木下地に固定しますが、必ずしも適正な位置に強固な下地があるとは限りません。そこで、任意の位置にしっかりとブラケットを固定するためには、まずブラケットベースを取り付ける必要があります。

シロクマはこれまでのタモ集成材、ゴム集成材に加え、LVS素材のブラケットベース「BR-950L」を発売しました。

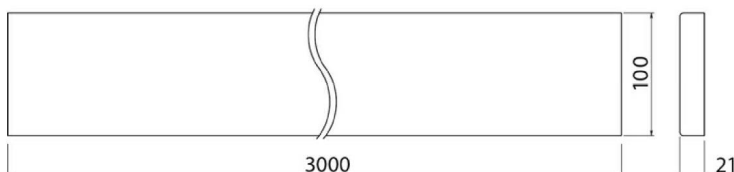
LVSとはLVL(単板積層材、平行合板)の表面にMDF(中質繊維板)を貼った複合合板です。LVLは繊維方向をそろえてツキ板を積層したもので、強度に優れています。一方、MDFは木材を繊維状にほぐし、接着剤などを配合して板状に成形したもので、表面の平滑性が特徴です。

LVSはこの両素材の長所を併せ持った素材で、「BR-950L」はそこに美しく自然な感じの木目柄とアイボリのオレフィンシートを貼っています。集成材に塗装したブラケットベースは、色合いに若干の個体差が出ることもありますが、これはシート貼りなので、ベースをつないだ時なども均一に仕上がります。

サイズは3000×100mm。ミディアムオーク、ライトオーク、アイボリの3色がそろっています。抗菌加工。



LVSブラケットベースへの  
ブラケット取付例  
【BR-600 (AG)を使用】



サイズ	ミディアムオーク	ライトオーク	アイボリ	入数
3000	8,800円	8,800円	8,800円	4

表示価格は税抜きです。

## オススメ書籍紹介

### 『かばん屋の相続』 池井戸 潤著 文春文庫

一世を風靡した半沢直樹シリーズや『下町ロケット』で知られる池井戸潤の短編集。表題作をはじめとした6編の作品はすべて著者お得意の銀行や信用金庫を舞台とした金融小説です。貸す側と借りる側の悲喜こもごものドラマが繰り広げられますが、企業の血液にたとえられるお金を巡る物語だけに、企業人なら誰も考えさせられるエピソードが色々と描かれています。先の読めないスリリングな展開、登場人物の人間像を浮かび上がらせる語り口の巧みさで、上質な娯楽としても楽しめます。

どの作品も単純な勧善懲悪ではなく、人間のしたたかさ、愚かさ、せつなさなどが行間から伝わってくる内容で、物語の世界に引き込まれていきます。その中の一編『妻の元カレ』だけは、銀行マンである主人公夫婦のちょっとした心のほころびから始まる亀裂を描いた異色作で、苦い余韻を残します。表題作の『かばん屋の相続』は一時期マスコミを販売させた京都、一澤帆布のお家騒動に着想を得た作品のようですが、内容はまったくのオリジナルです。

